

歴史と庶民の町 大須
『大須文庫』で文化にふれる

やさしい大須
街づくりプロジェクト

大須文庫

知っていますか？

文化遺産、宝の山、大須文庫

大須観音には一万五千点を超える書物があり、それを大須文庫といいます。最大の宝物「古事記」を含む四つの国宝や、重要文化財が多数保管され、全国にも類を見ない誇るべき文化遺産です。日本人の記憶の宝庫がいま開かれます。



講演会のお知らせ

「知られざる書物の王国、
大須観音の秘密の扉を開く」

阿部 泰郎 教授

名古屋大学人文学研究科
人類文化遺産テキスト学研究センター・センター長

こじき さんかん
「古事記」三巻
(国宝)



■ 日時
平成30年 3月8日(木) 入場無料
午後1時30分～2時30分(開場:午後1時00分)

■ 場所
ローズコートホテル 4F | 名古屋市中区大須4丁目9-60 TEL:052-269-1811
地下鉄名城線・上前津駅1番出口すぐ JR名古屋駅より車で10分

* 駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

■ 申し込み
定員100名 要申し込み | 左下の申し込み表へご記入の上、
事前に名古屋大須ロータリークラブまで、FAXにてお申し込みください。

お問い合わせ・申し込み/名古屋大須ロータリークラブ 名古屋市中区栄4丁目6-5丸越ビル6F
TEL:052-251-0181 FAX:052-251-0337 Mail:office@nagoya-osu.org HP:http://www.nagoya-osu.org

こうぼうだいしでん
弘法大師伝
(重要文化財)

申し込み表
名古屋大須ロータリークラブ宛
FAX:052-251-0337

(フリガナ)
お名前

電話番号 *携帯など当日連絡用

ご年齢 人数

名

奇跡の大須文庫

今から7百年前、大須(現岐阜県羽島市)の地に学僧能信上人をはじめ3世にわたって当時最先端の仏教経典が全国から集められ、この類を見ない文化的記憶遺産が誕生しました。その後、徳川家康による名古屋城築城とともに、いわゆる清州越しで大須観音を城下に移し、歴代の藩主がこの大須文庫の保存に努めました。このようにして残された奇跡の文庫の全貌が今明らかになりつつあります。今回は名古屋大学人文研究科 阿部 泰郎 教授に最新の調査研究をご紹介いただきこの貴重な文庫の意義を身近に感じ、悠久の時に思いを馳せてみましょう。

